

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月18日
株式会社ディー・エル・イー



1. 決算概況

P 2

2. 2020年1 - 3月の取り組み

P 7

3. 今後の見通し

P12

1. 決算概況

決算ハイライト(連結・前年同期比)

前年同期比で**30**億円(△83.5%)の減収、**5**億円の経常減益

東京ガールズコレクションを企画・運営している(株)W TOKYOが前期第3四半期末をもって連結対象でなくなったため減収減益

単位：百万円	2020年3月期 (9ヶ月)	2019年6月期 3Q(*)	増減額	前年同期比
売上高	597	3,629	△ 3,032	△83.5%
営業利益又は営業損失(△)	△ 441	62	△503	-
経常利益又は経常損失(△)	△ 440	60	△501	-
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	△ 438	△ 689	+251	-

*当期より決算期変更により9ヶ月の数字となっているため、前期についても9ヶ月の数字と比較しております。

領域別売上・売上総利益(連結)

<ソーシャル・コミュニケーション領域>

(株)W TOKYOが前期第3四半期末をもって連結対象でなくなったため減収減益。

<IPクリエイション領域>

前期の大型案件の反動減および仕掛品評価損計上により減収減益

単位：百万円	2020年3月期 (9ヶ月)	2019年6月期 3Q(*)	増減額	前年同期比
売上高	597	3,629	△3,032	△83.5%
ソーシャル・コミュニケーション	577	3,355	△2,777	△82.8%
IPクリエイション	19	274	△254	△92.8%
売上総利益	104	994	△889	△89.5%
ソーシャル・コミュニケーション	234	940	△705	△75.0%
IPクリエイション	△129	53	△183	-

*当期より決算期変更により9ヶ月の数字となっているため、前期についても9ヶ月の数字と比較しております。

連結貸借対照表

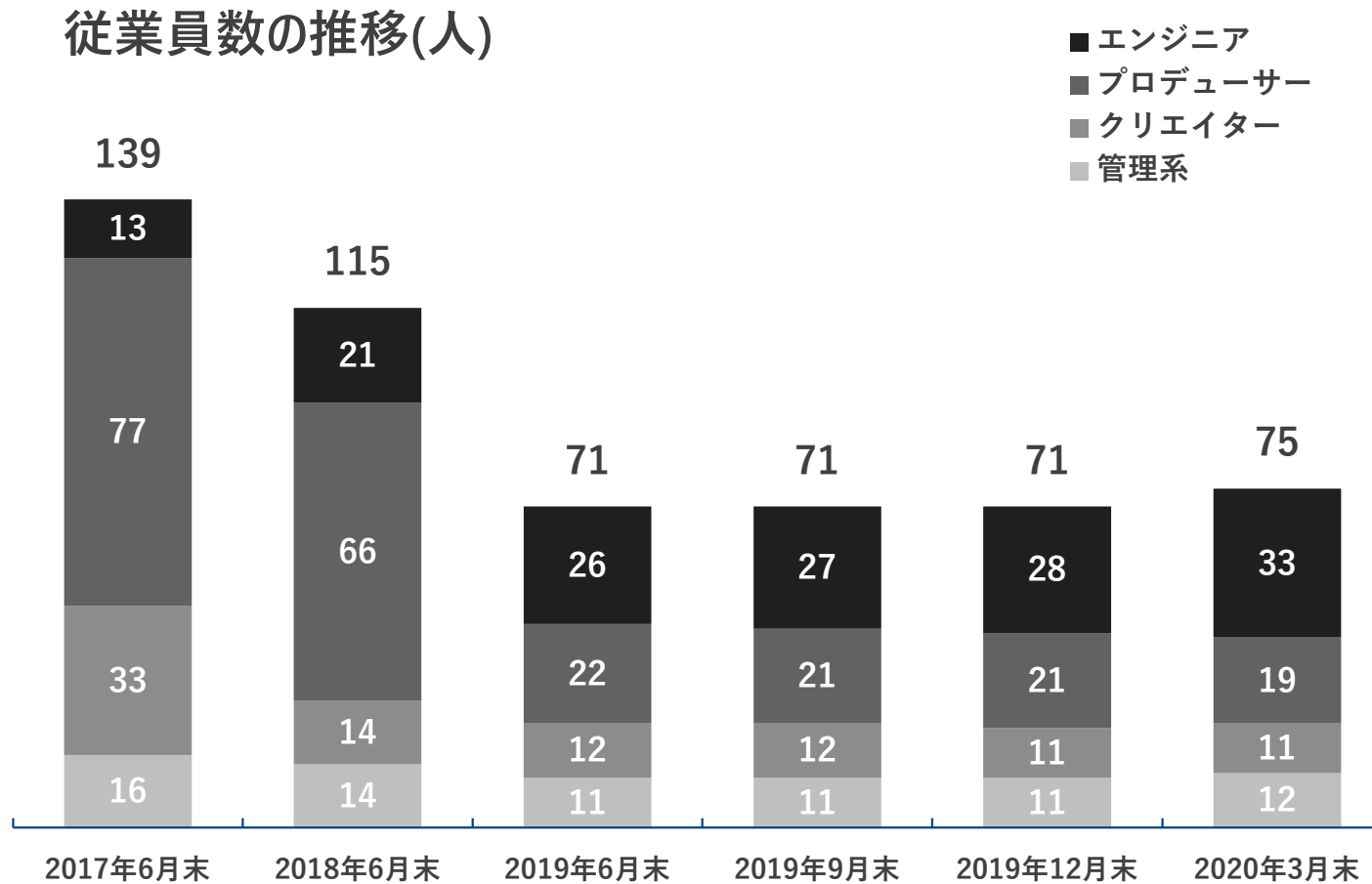
納税および借入金返済のため現金及び負債が減少

単位：百万円	2020年3月期 (9ヶ月)	2019年6月期	増減額	前期末比
流動資産	4,274	5,193	△ 918	△17.7%
現金及び預金	3,953	4,508	△ 554	△12.3%
受取手形及び売掛金	130	193	△ 62	△32.5%
その他	190	491	△ 300	△61.2%
固定資産	187	109	+78	+71.0%
投資有価証券	24	24	-	-
関係会社株式	53	53	-	-
その他	110	32	+78	+241.6%
資産合計	4,462	5,303	△840	△15.8%
買掛金	78	34	+43	+125.3%
借入金	274	515	△241	△46.8%
その他	215	415	△200	△48.2%
負債合計	568	966	△398	△41.2%
資本金	2,916	2,916	-	-
資本剰余金	3,254	3,254	-	-
利益剰余金	△ 2,275	△ 1,837	△438	-
新株予約権	0	4	△4	△93.6%
純資産合計	3,894	4,337	△442	△10.2%
負債純資産合計	4,462	5,303	△840	△15.8%



従業員数の推移(連結)

2019年6月期 (株)W TOKYOが連結対象から外れて減少した以降
従業員数は概ね横ばい



2. 2020年1 - 3月の取り組み

当社株式の特設注意市場銘柄の指定解除

コーポレートアイデンティティ（CI）の刷新

映画『犬鳴村』ゲーム化決定

当社株式の特設注意市場銘柄の指定解除

当社は2018年12月28日付で「特設注意市場銘柄」に指定されておりましたが、当該指定を厳粛に受け止め、改めて本件問題に対する責任の所在を明確化し、全社的な意識と行動の改革に取り組み、経営管理体制の強化や各種業務プロセスの不備の解消に向けた改善施策の実行に全社をあげて取り組んでまいりました。

その後、当社は、指定から1年後の2020年1月6日に有価証券上場規程に定められた内部管理体制確認書を東証に提出し、審査を受けておりましたが、2020年2月21日に東証より、審査の結果、内部管理体制等に問題があると認められないため、当社株式の特設注意市場銘柄の指定を2020年2月22日付で解除する旨の通知を受けました。

今後も、内部管理体制の整備・強化を継続するとともに、当社グループ一丸となって、業績の向上及び信頼の回復に全力を尽くし、株主、投資家及び取引先の皆様、並びに市場関係者の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様のご期待に添えますよう経営体質の強化を図る所存でございます。

引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

コーポレートアイデンティティ（CI）の刷新

新生DLEとして、CIを刷新。今後HP等、順次新CIにリニューアルしてまいります

<新CIストーリー>

様々な個性が組み合わさり、ユニークなアイデアでグローバルにビジネスを展開するDLE。

その多様なアイデンティティを「丸・三角・四角」の3つの全く違う個性をもったカタチで表現しました。



光の三原色をベースとした赤（マゼンタ）・青（シアン）・黄色（イエロー）のカラーは、3色が組み合わさることで、どんな色（想い）も表現できるという柔軟性と自由を表しています。

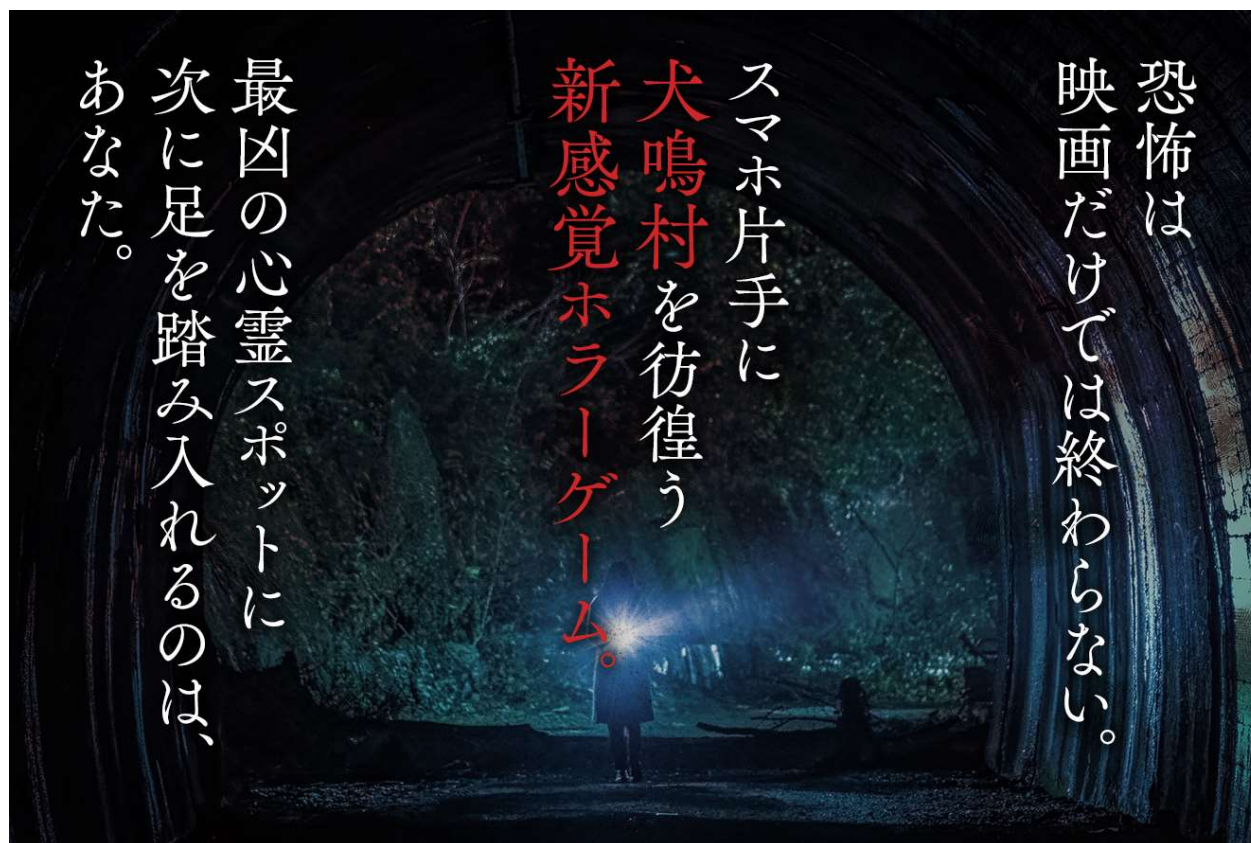
ミニマルなシンボルとベーシックなカラーで伝えるストーリーは、グローバルな訴求を可能にする、“伝わる”アイデンティティです。

強い個性と自由な発想、革新的なアイデアで、世界へ唯一無二のユニークなビジネスを展開していく、それがDLEです。

映画『犬鳴村』ゲーム化決定

当社の子会社であるちゅらっぷす株式会社は、2020年2月7日に公開後、興行収入13億円、動員100万人を突破し、当社も出資している清水崇監督『犬鳴村』を題材にしたホラー映画のゲーム化に着手しました。

配信プラットフォームやジャンル、配信日時等は順次情報を発信していきます。



©2020「犬鳴村」製作委員会

3. 今後の見通し



今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大の影響が経済・社会活動に大きな影響を与えており、世界経済にも減速懸念が強まるなど、国内外の経営環境は厳しさを増していくことが予想される。

在宅でも楽しめるSNS、動画配信サイト、ソーシャルゲーム、コミュニケーションアプリ、動画編集・投稿アプリなどのサービス利用の拡大も期待されるが、一方で、企業のマーケティング施策の縮小などの影響も懸念される。

当社グループでは、4月より原則として在宅勤務の体制に移行。ICTを活用し、可能な限り従来通りの業務を行っており、現段階において顕著な影響はないものの、影響が長期化した場合、企業の景況感悪化に伴う受注数の減退も予想される。

2021年3月期の連結業績予想は未定。

中期経営計画の更新も凍結。

今後、開示が可能となった段階で速やかに公表。



DNE DLE